

# 礎 第49号

茨城県民間保育協議会青年部広報誌



## ご挨拶

コロナウイルス感染症の蔓延も落ち着きをみせ、それぞれの施設においても本来の活動が戻りつつあります。多くの制限を受けて日々を過ごしてきた子ども達には、これまで出来なかった経験をたくさんしてもらいたいと願っています。

さて、令和4年度の青年部の活動もまとめの時期になりましたが、今年度も多くの皆様のご理解とご支援を賜り、実り多き一年となりました。コロナ禍にあって対面での貴重な交流場は少なくなりましたが、そんな中においてもウェブを活用した交流を続け、意見交換や情報の共有など有意義な活動ができたと思います。ここ数年オンライン研修会等が大変増えましたが、コロナウイルス感染症による非常事態などを経験したからこそ出来上がってきたシステムで、これもまたひとつの大きな成果であり、これからの私たちの活動の幅が大きく変化していくきっかけになったのだと思います。

苦境の時だからこそ知恵を絞って打開策を見つけ、前向きにチャレンジしていく気持ちや、リスクに備える事の大切さなど今回の感染症から多くの学びと気づきを得たと思っています。ひとつひとつの経験が人を大きく育てる、これは大人も子供も変わらない生きる力を養う大切なプロセスなのだろうと思います。

状況は随分と好転しアフターコロナの時代がやってきますが保育界を取り巻く課題は山積しています。先日発表された出生数は80万人を割り込みました。人口の減少は今後の社会形成に大きな影響を与え、私達の仕事にも大きく関わる深刻な問題です。私達の施設が安定した運営を続ける為にも、そのあり方というものを見直ししつつ、引き続き地域からの付託と信頼に応えていく努力が必要なのだと感じます。青年部の会員の皆様はじめ、茨城の保育を支える多くの同志の皆様と共に、更なる子育て支援に努めてまいりましょう。

本年一年の皆様方のご支援とご協力に心からの感謝と、引き続き青年部の活動へのご理解を賜り、ご挨拶といたします。

茨城県民間保育協議会 青年部部長  
金上保育園 白田礼治



## 活動報告

### 副部長 就活応援特別担当

今期、新副部長の役を与えて頂き保育士人材不足と言われている中で就活生における支援を主として活動してまいりました。

コロナ禍での就活支援の手法を模索する中、茨城県いばらき保育人材バンクと共同し、就活特別委員会はじめ青年部員の協力を得て活動してまいりました。

従来であれば保育士養成校の学生を対象としていた事業ではありましたが、就活生だけでなく中高生及び潜在保育士に向けての支援につながる取り組みができたことに大きな成果を感じております。

昨今 は保育の質に関する社会問題が取り上げられ、現在保育をされている方、また、保育士を目指す方にとってネガティブなイメージを感じ取られてしまっております。

今期の活動をもとに保育士を目指している方々にあらためて保育の素晴らしさと魅力を提供できるよう今後とも努力を積み重ねていきたいと考えております。



副部長 ミーム保育園 萱場祐友

### 副部長 全国私立保育連盟青年会議担当

今年度は対面での会議や研修会を多く開催することができました。特に10月27・28日に開催された第41回全私保連青年会議愛知大会には、全国から500名を超える参加者が現地に集い、学びや懇親を深めました。また、12月には第16回特別セミナーを初の地方開催として宮崎観光ホテルで開催。こちらも全国から170名のご参加をいただき、青年会議らしいテーマでの研修会となりました。その他にも、青年会議の新バッジの販売や広報活動の強化、ハイブリッド研修や会議を各部で行う等、積極的に活動いたしました。

私個人としては副会長兼企画部長として部の運営を、役員としては役員会や三団体役員会議（全私保連青年会議・日保青年部・経営協青年会）に参加をし、団体の垣根を越えてこれからの保育界について意見交換などをいたしました。また、私の任期が今年度までとなることから、次の茨城県代表幹事となる予定の尾見泰延先生（たけのこ保育園：筑西市）への引継ぎも進めてまいりました。

最後に、3期（6年間）にわたり私を茨城県代表幹事として出向させて下さいました青年部の皆様、本当にありがとうございました。個人的にも大きく成長できた6年間となりました。これからは、得たものを少しずつ青年部に還元できるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



副部長 まつやま保育園 松山圭一郎

## 副部長 日本保育協会青年部茨城県支部長

皆様におかれましては、日頃より日本保育協会青年部の活動に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、日保協青年部を担当させていただいております、認定こども園境いずみ保育園の菊地と申します。

日保協青年部ではコロナ禍においてもオンラインと参集のハイブリッド形式で会議や研修、大会を可能な範囲で開催しておりましたが、今年度に入り、対面での研修機会が増えてまいりました。全国の活気を茨城にしっかりと伝えられたかという個人的には課題も多々あったと思っておりますが、皆様にご協力いただき、無事に任期を終えることができそうです。たくさんのご支援、本当にありがとうございました。

今後は区分も変わり、また活気あふれる青年部活動が展開できるようになると期待しております。時代は移り変わっても保育の大切な根幹は変わらない。そんな保育の魅力をまた皆様と語り合っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

副部長 認定こども園境いずみ保育園 菊地 渉



## 就活応援特別委員会

こんにちは、就活応援特別委員会の委員長を仰せつかりました、堀川保育園園長の堀川宗愛です。令和4年度の事業としましては、今年から、県の委託を受けた『いばらき保育サポートセンター』と一緒に2つの事業を行いました。

まず、一つ目は夏休みと冬休みを使い、高校生を対象とした『保育のお仕事キャリアプランニングセミナー』を5日間（養成校5校、保育園・認定こども園10園）行いました。延べ48名の高校生が参加してくださり、園見学及び養成校見学を行いました。

2つ目は1月に養成校学生及び潜在保育士を対象とした『保育施設見学バスツアー』を開催しました。地域ごと10コース40園を企画しましたが、実際には参加者の関係で6コース24園の実施でした。こちらは、延べ22人の参加でした。実際に高校生や大学生、潜在保育士の方々と接し、保育士になりたい、〇〇のような先生になりたい、などとても素晴らしい夢を持っている方が多いことを感じました。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の為、色々制限を受けながらの活動でしたが、今回このような事業が成功したのは、急なお願いにも関わらず、快く見学の承諾を頂いた園長先生方のおかげだと思っております。また、お受けしていたにも関わらず、中止になってしまったコースもございましたので、来年は参加者を増やしていければと思います。



就活応援特別委員会 堀川保育園 堀川宗愛

## 調査研究委員会

当委員会では県内の保育所（園）、認定こども園についての様々な分野の実態調査をアンケートを用いて行い、保育の向上に努めることを目的として活動しています。令和3年度の調査にてSNSの活用へ意欲的な姿勢をお持ちの園が多かった事を鑑み、本年度の調査ではSNSの活用状況についてアンケートを実施いたしました。

アンケートを実施するにあたり、今回はFAXのみの回答方法で回答率が26%であった為、今回は回答率を上げることを目標にGoogleフォームとFAXの2つの回答方法で実施いたしました。

SNSの活用状況については約66%が現在使用しておらず、その内約79%の園が今後も使う予定がないという結果でした。使用している園ではインスタグラム、フェイスブック、ユーチューブが最も多く、主に保護者を対象に日常や行事の様子を配信しております。次いで採用の販促としても活用しているようですが、いずれも効果ははっきりと見えていないのが現状だそうです。

回答率の結果としては70園がGoogleフォームでの回答でしたが、回答率は23%と予想に反して回答が伸びませんでした。SNSというアンケートのテーマが弱かったことも原因かとは思われますが、実施時期や実施方法も含めて、より実態に近い調査を実施できるよう検討して参ります。



調査研究委員会 なかや保育園 河野正亮

## 研修委員会

令和4年度 研修委員会としては、令和5年2月9日にZOOMを活用したウェビナーを開催いたしました。静岡県における保育士逮捕という痛ましい事件を受け、我々青年部としてもコンプライアンスや、どこからが虐待にはいるのか等を学ぶべく、国内唯一ともいえる保育士資格をお持ちの木元弁護士をお招きし講演いただきました。内容としては、普段の園においてあたりまえに行われているような保育についても、虐待や不適切保育に当てはまる可能性があるということで、参加園の皆様も、再度保育の見直しにつながったのではないかと感じております。講演後については、ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用し、参加いただいた現場の保育士さん達のそれぞれの悩み共有や、各園での取り組み内容の共有等を行い、最後は質疑応答の時間として木本弁護士にお答えいただきました。

コロナ禍終盤ではございましたが、対面での実地研修ではなく、WEBを活用することでリスクを抑え、より多くの人数にご参加いただけたのかなと感じております。ご協力いただきました関係各所の皆様におかれましては、大変お世話になり、誠にありがとうございました。



研修委員会 元吉田さくら保育園 佐藤聖悟

## 部員交流委員会

部員交流委員会委員長を務めました岩間保育園の柴山と申します。この数年新型コロナウイルスの影響により、各施設でも多くの行事で制限を余儀なくされている状況の中、部員交流委員会の活動も例外ではなく多くの活動はできておりませんでした。しかしながら今年度は2月8日に研修委員会主管で開催したセミナー終了後、レイクビュー水戸で懇親会を設えさせていただきました。当日は多くの皆様にご参加いただき、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。対面で杯を交わしながら様々な情報を共有し、交流を深めていくことこそが青年部としての醍醐味であると感じました。リアルに勝るものはないと実感する一方で、実地では参加が難しかった方もzoomなどの配信ツールを使用することにより参加のハードルが低くなったことで、今後様々なかたちでの交流の機会が増えていくと思います。これからもそういった交流の場を大事にし、多くの方々に参加できることをご期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

部員交流委員会 岩間保育園 柴山純



## 広報委員会

今年度、広報委員会委員長を務めました牛久みらい保育園の中村でございます。

広報委員会といたしましては、引き続きコロナ禍、制限下での活動となりました。大得意の突撃保育園訪問！や施設取材等も残念ながら積極的な活動としてはすすめることができず皆さまへの情報提供や共有が不完全燃焼に感じております。来年度は明けてまもなくの5月に新型コロナウイルスの5類感染症への移行により、また情勢は大きく変化することが予想され「新しい日常」が始まります。皆さまへフレッシュかつわくわくドキドキするような情報をお届けできるように努めてまいります、次の突撃保育園訪問はあなたの園かもしれません！お楽しみに〜

広報委員会 牛久みらい保育園 中村康範



編集／発行 茨城県民間保育協議会青年部広報委員会

委員長：中村康範 副委員長：山崎公蔵 藤枝高広

委員：河野明子 杉山康宜 戸田見良 永田真裕 萩谷智守 森川道成